

科目番号：68

分野	専門分野(母性看護学)				
科目名(必修)	母性看護学概論				
単位数(時間)	1単位(30時間)	対象学年	1年次	担当講師	実務経験
					看護師
講義回数	15回	開講時期	後期		
テキスト					
新体系 看護学全書 母性看護学① 母性看護学概論／ウィメンズヘルスと看護(メヂカルフレンド社)					
厚生の指標 増刊 国民衛生の動向(厚生労働統計協会)					
目的					
母性の概念とその特性を理解し、保健医療福祉における母性看護の基礎となる知識・技術・態度を習得する。生命を生み育てる母性、生命の継続や尊厳について考える機会とする。					
目標					
1. 母性の概念とその特性を理解できる。					
2. 生理的現象である妊娠・分娩という役割を担う女性の健康について身体的・精神的・社会的側面から総合的に理解できる。					
3. 保健医療福祉における母性看護の役割を理解できる。					
授業計画・授業内容					
回	授業内容				授業方法
1	母性看護に関する概念(ポウルビー)				講義
2	女性のライフサイクル各期における看護				講義
3	リプロダクティブヘルスを阻害する健康問題				演習
4	リプロダクティブヘルスを阻害する健康問題				演習
5	リプロダクティブヘルスを阻害する健康問題、発表				演習
6	リプロダクティブヘルスを阻害する健康問題、発表				演習
7	思春期・成熟期女性の健康課題と看護				講義
8	思春期・成熟期女性の健康課題と看護				講義
9	更年期・老年期女性の健康課題と看護				講義
10	更年期・老年期女性の健康課題と看護				講義
11	更年期・老年期女性の健康課題と看護				講義
12	妊娠・出産に関する基礎知識				講義
13	母子保健の動向と母性看護に関する法規				講義
14	周産期医療システムと母子保健施策				講義
15	試験・まとめ				講義
評価方法・評価基準					
レポート、課題提出内容、発表内容、出席態度、出席時間を総合的に評価し、100点中60点以上を合格とする。					
その他					

科目番号: 69

分野	専門分野(母性看護学)				
科目名(必修)	妊産婦を支える看護				
単位数(時間)	1単位(30時間)	対象学年	2年次	担当講師	実務経験
					助産師
講義回数	15回	開講時期	前期		
テキスト					
新体系看護学全書 母性看護学① 母性看護学概論／ウィメンズヘルスと看護(メヂカルフレンド社)					
新体系看護学全書 母性看護学② マタニティサイクルにおける母子の健康と看護(メヂカルフレンド社)					
目的					
対象が自身と新しい生命の健康管理が実践できるように生活指導を中心とした看護について学習し、妊娠・分娩期の看護実践の基礎知識を学ぶ。					
目標					
1. 正常妊娠の胎児発育と生理、妊娠期と分娩期の母体の生理的变化について理解できる。					
2. 妊娠期に必要な妊婦の健康管理と保健指導について理解できる。					
3. 分娩の経過と看護について理解できる。					
授業計画・授業内容					
回	授業内容				授業方法
1	妊娠の生理と経過／健康診断と胎児の健康管理				講義
2	妊婦の診察と介助／妊婦の心理・社会的特徴				講義
3	妊婦の健康管理と保健指導				講義
4	妊娠中の日常生活の過ごし方と注意点				講義
5	妊産婦の食事指導／マイナートラブルと保健指導				講義
6	分娩準備教育(乳房の手当て・新しい家族役割への適応過程への援助)				講義
7	妊婦の健康診査(子宮底・腹囲測定・レオポルド触診法・胎児心音測定)				演習
8	妊婦の健康診査(子宮底・腹囲測定・レオポルド触診法・胎児心音測定)				演習
9	妊婦の安全				講義
10	分娩の生理と経過				講義
11	分娩の経過と看護				講義
12	分娩の経過と看護				講義
13	産婦の心理的特徴				講義
14	産婦の安全				講義
15	試験・まとめ				講義
評価方法・評価基準					
筆記試験を100%とし、100点中60点以上を合格とする。					
その他					

科目番号: 70

分野	専門分野(母性看護学)				
科目名(必修)	褥婦、新生児、ハイリスクな周産期を支える看護				
単位数(時間)	1単位(30時間)	対象学年	2年次	担当講師	実務経験
					助産師
講義回数	15回	開講時期	前期		医師
テキスト					
新体系看護学全書 母性看護学① 母性看護学概論／ウィメンズヘルスと看護(メヂカルフレンド社)					
新体系看護学全書 母性看護学② マタニティサイクルにおける母子の健康と看護(メヂカルフレンド社)					
目的					
対象が自身と新しい生命の健康管理が実践できるよう生活指導を中心とした看護について学習し、褥婦・新生児(ハイリスクを含む)の看護実践の基礎知識を学ぶ。					
目標					
1. 褥婦の健康管理と保健指導について理解できる。					
2. 新生児の健康管理と保健指導について理解できる。					
3. ハイリスク妊娠、異常分娩の褥婦の健康管理と保健指導について理解できる。					
授業計画・授業内容					
回	授業内容				授業方法
1	産褥の経過について				講義
2	褥婦の心理・社会的特徴・家族の心理について				講義
3	褥婦の看護の実際				講義
4	新生児の経過について				講義
5	早期新生児の看護について				講義
6	新生児の安全について				講義
7	新生児の看護の実際(沐浴・観察演習)				演習
8	新生児の看護の実際(沐浴・観察演習)				演習
9	ハイリスク及び異常な状態にある妊産褥婦・胎児の病態生理・検査・治療				講義
10	安静療法・薬物療法(切迫早産、切迫流産、妊娠高血圧 等)				講義
11	異常分娩(前期破水、帝王切開術、胎児機能不全)				講義
12	ハイリスク及び異常な状態にある新生児の病態生理				講義
13	ハイリスク及び異常な状態にある新生児の病態生理と看護				講義
14	死産、障害を持つ新生児を出産した親への看護				講義
15	試験・まとめ				講義
評価方法・評価基準					
筆記試験を100%とし、100点中60点以上を合格とする。					
その他					

科目番号: 71

分野	専門分野(母性看護学)				
科目名(必修)	周産期にある人の看護過程				
単位数(時間)	1単位(15時間)	対象学年	2年次	担当講師	実務経験
					看護師
講義回数	8回	開講時期	後期		
<b>テキスト</b> 新体系看護学全書 母性看護学① 母性看護学概論／ウィメンズヘルスと看護(メヂカルフレンド社) 新体系看護学全書 母性看護学② マタニティサイクルにおける母子の健康と看護(メヂカルフレンド社)					
<b>目的</b> 正常経膈分娩の褥婦・新生児の事例を通し看護過程を展開する能力を養う。					
<b>目標</b> 1. 褥婦と早期新生児の生理的变化の特徴をふまえ、ウェルネスの視点でアセスメントできる。 2. 褥婦と早期新生児に必要な援助を、ウェルネスの視点で考えることができる。					
<b>授業計画・授業内容</b>					
回	授業内容				授業方法
1	正常経膈分娩 褥婦の事例				講義・演習
2	正常経膈分娩 褥婦の事例				演習
3	正常経膈分娩 褥婦の事例、発表				演習
4	正常経膈分娩 褥婦の事例、発表				演習
5	正常経膈分娩 新生児の事例				講義・演習
6	正常経膈分娩 新生児の事例				演習
7	正常経膈分娩 新生児の事例、発表				演習
8	正常経膈分娩 新生児の事例、発表				演習
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
<b>評価方法・評価基準</b> レポート、課題提出内容、発表内容、出席態度、出席時間を総合的に評価し、100点中60点以上を合格とする。					
<b>その他</b> 〈参考書〉百瀬千尋編著 看護学生のためのレポート&実習記録の書き方(メヂカルフレンド社)					